

平成26年度 第1回東部地区幼稚園教員・保育士の合同研修会

## 「元気の出る園づくり

### ～園評価を活かして～

日時：平成26年5月14日（水）

場所：鳥取県福祉人材センター

◆研修講師 奈良学園大学 善野 八千子 氏

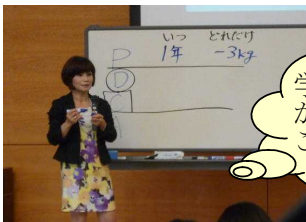
#### 【ねらい】

元気の出る園づくりをめざした園評価の活用法について理解し、自園の取組に生かす。

◆講師による講義・演習

（レジュメ、鳥取県幼児教育振興プログラム P27,28 参照）

- ・RPDCAにより、現在の子どもの姿からめざす子どもの姿へ
- ・子どもの育ちと学びの連続
- ・『横』の連携と『縦』の接続
- ・教育は、「人づくり」「町づくり」「授業・保育づくり」
  - 家庭・地域の教育力の向上
  - 校種間連携
  - 授業力・保育力を向上
- ・学校園評価システムの構築
- ・基軸となるのは、自己評価
- ・評価項目の重点化・明確化
  - 園の取組との照合
- ・保護者と一緒に問題解決
  - クレーマーをサポートに



#### 【参加者の感想】

- ・話を聞いて、元気をいただいた。地域を巻き込み、地域に協力していただける園にしていきたい。
- ・園評価をマイナスに捉えていたが、園評価を行うことで次年度の行事がよりよくなったり、資質向上につながったりとよい方向に向かっていくことがわかった。
- ・保護者へ園の特色や特に力を入れて取り組んでいることなどを、もっと具体的な姿や数値で示していくことが大切だと思った。
- ・評価項目を園の目標に合わせて具体化していきたい。
- ・園目標をもう一度見直し、知・徳・体で短く、わかりやすいものにみんなで作成し直したい。
- ・子ども、保護者、地域の実態やニーズを知り、それに基ついた園の取組を発信していくことの大切さを改めて感じた。
- ・PDCAサイクルの仕組みとその大切さがよくわかった。
- ・1分間子ども自慢を職員研修や、保護者研修会で実施したい。

前向きでユーモア溢れる内容で、あっという間の2時間でした。

